

大学推薦
------

学内締切

公益財団法人 長谷川留学生奨学財団 2012年度(9期生)奨学生募集要綱

11/14(月)

公益財団法人 長谷川留学生奨学財団（以下「本財団」という）は、本財団奨学金により、都内の大学において勉学・研究を行うアジアからの外国人留学生を下記により募集いたします。

## 《記》

## 1. 趣旨

本財団の奨学金制度は、東京都内に在住し、都内の大学に在籍するアジアからの留学生に対し、奨学金の援助を行い、より充実した勉学・研究を継続させることにより、国際社会の発展に寄与することを目的とする。

## 2. 応募者の資格

- (1) アジア各国からの留学生
- (2) 都内の私立、国公立大学に在籍し、学長または学部長の推薦を得た者
- (3) 都内に在住の留学生

## 3. 募集人数 30名前後

~~短大生 2年生~~ (2012年4月現在)  
 大学生 3年生 ( 同上 )  
 大学院生

※ 大学からの推薦人数 1名

生田校舎に通学する留学生は  
 応募できません。

## 4. 支給期間及び支給金額

2年間（但し短大生は1年間）・月額8万円

## 5. 選考

## (1) 選考方法

- ① 推薦内容審査 内容：選考委員会による推薦内容の審査
- ② 面接試験 内容：選考委員会による面接試験（勉学への意欲など、人物中心）

実施時期 2012年1月中旬頃（別途通知）

## (2) 選考結果

選考結果については、推薦者である各大学の学長または学部長を通じて通知する。

【応募締切日(奨学金申込書・財団指定用紙)】 ※ラウンジでのTAによる受付はできません。

国際教育事務局(駿河台キャンパス) 11月14日(月) 17:00まで

国際教育事務局(和泉キャンパス) 11月14日(月) 17:00まで

生田キャンパス課(生田キャンパス) 11月14日(月) 17:00まで

\*「大学推薦」の奨学金に応募する場合は、「一斉面接」を受けていることが条件となります。

\* 大学推薦用の奨学金申込書(黄色の用紙)は不要です。問い合わせ先: 国際教育事務局 tel 03-5300-1542

\* ★印の書類については、大学推薦が決定した者のみ提出します。申込時には不要ですが決定後すみやかに提出できるよう準備してください。

また推薦状が必要な奨学金の場合は、推薦決定後すみやかに推薦状が提出できるようにするため、事前に指導教員等に推薦状の作成依頼をしておくこと。

## 6. 応募書類

※  
(2)~(6)  
不要

- (1) 申請書類(所定の用紙による) . . . . . 正本1通
- (2) 写真(最近6ヶ月以内に撮影したもの6×4cm上半身・正面・脱帽)  
. . . . . 2枚(1枚は申請書に貼付)
- (3) 在籍大学既修成績証明書(評価基準付) . . . . . 正本1通  
《修士課程・博士課程前期の1年次の方は、大学4年生時の成績証明書》
- (4) 在籍大学の学長または学部長の推薦状(所定の用紙による)・正本1通
- (5) その他専攻により現在の研究テーマを有する場合はその研究概要の書類、資料 . . . . . 1部
- (6) 資格等取得している方は、取得証のコピー . . . . . 1部

(注1) 提出書類は日本語または英語により作成する。

(注2) 申請書類がすべて完全かつ正確に記載されていない場合、また付属書類が完全に揃っていない場合は受理しない。

## 7. 奨学金支給の休止、停止及び廃止

奨学生が次のいずれかに該当する場合、理事会の決定により奨学金の支給を休止、停止又は廃止することがある。

- (1) 奨学生が休学又は長期に渡って欠席したときは、奨学金の支給を休止する。
- (2) 奨学生の学業又は素行などの状況により、指導上必要があると認めるときは奨学金の支給を停止する。
- (3) 奨学生が次の各号の一に該当すると認めるときは、在籍校推薦者の意見を徴して奨学金の支給を廃止する。
  - ① 留年したとき。
  - ② 傷病などのため成業の見込みがなくなったとき。
  - ③ 奨学金を必要としない理由が生じたとき。
  - ④ 前各号の他、奨学生として適当でない事実があったとき。

## 8. 注意事項

- (1) 本奨学金は、あくまで奨学生本人の日本における勉学・研究を奨励支援するために支給するものであり、奨学生においては、支給目的に沿わない使い方をしないよう十分心がけること。
- (2) 奨学金の受給条件に変化が生じたときは、速やかに届けること。
- (3) 奨学生は留学期間中、日本語学習、専門の勉学・研究以外に、日本及び東京に対する理解を深めるように努めなければならない。
- (4) この要綱に記載してある事項について、不明な箇所又は他に疑問があれば本財団に文書で照会のこと。

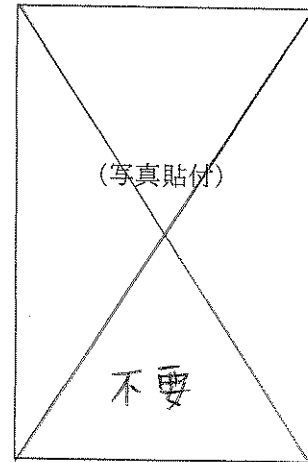
以上

# 2012 年度 (9 期生) 奨学生 申請書

( 明 治 ..... 大学 )

公益財団法人 長谷川留学生奨学財団  
理事長 長谷川 博一 殿

私は、2012 年度 (9 期生) 貴財団奨学生募集要綱に、  
記載された内容に従い、貴財団の奨学生として採用  
されたく申請いたします。



1. 姓 名

母国語による姓名

...(フリガナ).....

...(姓名).....

英字による姓名

(Family name      First name      Middle Name)

2. 生年月日    西暦 ..... 年 ..... 月 ..... 日生 (満 ..... 歳)    男    女  
(2012 年 4 月 1 日現在の満年齢で記入のこと)

3. 国 籍 ..... (日本への入国年月 西暦 ..... 年 ..... 月).....

4. 現住所 〒□□□□-□□□□

.....  
電話.....

E-mail (携帯メールは不可).....

5. 母国住所 .....

.....

6. 現在の在籍

.....短期大学.....学部.....学科.....年次  
 .....大 学.....学部.....学科.....年次  
 .....大 学 院.....研究科.....専攻.....年次  
修士課程 博士課程

現課程への入学年月 (西暦).....年.....月.....入学

指導教授名 .....

7. 学歴

学校区分	学校名	専攻・学科	所在地(国名・都市名)	入学・卒業年月
高 校				入学 年 月
				卒業 年 月
短 期 大 学				入学 年 月
				卒業 年 月
大 学				入学 年 月
				卒業 年 月
大 学 院				入学 年 月
				卒業 年 月
日本語学校				入学 年 月
				卒業 年 月

8. 職歴 (新しいものから記入すること)

勤務先及び所在地	職務内容・役職名	勤務期間
		自 年 月
		至 年 月
		自 年 月
		至 年 月
		自 年 月
		至 年 月

9. 特技・取得免許・資格・趣味等（箇条書きで記入してください）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

10. 留学の目的及び留学後の仕事又は職場の予定

(1) 留学の目的

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

(2) 留学後の仕事又は職場の予定

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

1 1. 経済の現況

(1) 1ヶ月の平均収入 ..... 円

(内訳)

(該当項目を○で囲む)

①仕送り月額 ..... 円 (仕送り元=家族・保証人・その他)

②奨学金月額 ..... 円 (奨学金の名称 )

(奨学金の名称 )

(受給期間 年 月～ 年 月)

③他からの援助額 ..... 円 (援助者との関係 )

④アルバイトの収入月額 ..... 円 (アルバイトの種類 )

⑤その他の収入月額 ..... 円 (預金引き出し・配偶者の収入・その他)

(2) 支払授業料 (年額) ..... 円 (全額免除・一部免除・全額自己負担)

(3) 家賃月額 ..... 円 (アパート・寮・下宿・その他)

1 2. 家族状況 (既婚の兄弟・姉妹を含め家族全員を記載すること)

家族氏名	続柄	年齢	現住所	勤務先又は学校名
	父			
	母			
	兄弟・ 姉妹			
	配偶者			
	子			

1 3. 推薦者 (学長もしくは学部長名)

推薦者氏名	本人との関係	連絡先	連絡先電話

~~1 4. 日本における身元保証人 (指導教授可)~~

※不要

推薦決定者のみ、記入してください。

〒□□□-□□□□

氏名 .....

住所 .....

職業 .....

電話 .....

本人との関係 .....